

ハイブ長岡(長岡産業交流会館)は、地域最大のコンベンション施設として、多岐にわたる数多くのイベントが開催され、幅広い分野の交流拠点として地域経済の発展に寄与している。令和3年度は、ハイブ長岡が1991年に開業してから30年目という節目である。依然としてコロナの影響が見通せない厳しい状況ではあるが、コロナ後も見据えながら、これまで培った実績やノウハウをフル活用し、「安全・快適に利用できる満足度の高い施設」として、引き続き質の高いサービスの提供に努めていく。

## 1. 会館管理運営事業

- ・地域随一の規模であり、高グレードで快適なイベント・コンベンション空間を引き続き提供していく。特に感染症対策として、フレキシブルに使用できる広い空間、感染症対策機器及び設備の活用により、コロナ禍においてもより安全にイベントを開催できる施設として、積極的にアピールを行う。
- ・「使い勝手の良い施設」であることを常に念頭に、施設整備、機器・設備類の更新を計画的に推進する。また会館スタッフの対応力向上のため各種研修への参加、OJTを積極的に行う。
- ・「ワンストップサービス」については、感染症対策に関する部門含め「MICESAサポーター」への登録業者拡充を積極的に行い、より「使いやすい施設」を目指す。
- ・「イベント案内」作成や各種メディアへの広告掲載とともに、当館ホームページを含む様々な媒体での催事情報、コロナ対応を含めた施設情報の発信を引き続き行う。また施設貸出状況をリアルタイムに把握できるウェブ上での利用申込みが可能なシステムについて検討を行う。

## 2. 誘致開催事業

- ・昨年度、コロナの影響によりキャンセルとなったイベントの主催者に対し、当館のコロナ対策を説明し不安を解消するとともに、個々の課題に即した具体的な対応を提案するなど、定番イベントの再開に向けた活動を強化する。
- ・市内外のコンベンション関連団体や行政と連携しながら、業界団体・学術団体等の催事開催ニーズやコロナ対応などの課題を把握し、当館の施設特性、感染症対策機器・設備の導入状況を踏まえた、より安全なイベント開催提案を、柔軟かつ具体的に行う。

### 3. 産業技術情報提供事業

長岡市産業展示室保守運用を受託し、長岡市と協議を行いながら、その目的に鑑み、良好な施設運営を図る。

### 4. その他事業

不動産賃貸事業において、引き続き産業展示室スペースについて貸付けを行うとともに、現在空室となっているレストランスペースについては、コロナ禍の状況を注視しながら、新たな入居者募集に向けて検討を行う。